



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：泌尿器科 佐野 雅之
(代理)

【研究責任者】

聖路加国際病院 泌尿器科 佐野 雅之

生体腎移植における後腹膜鏡下ドナー腎摘除術に関する研究

1. 研究の対象

2011年6月～2023年8月に当院で生体腎移植術およびドナー腎摘除術を受けられた方。

2. 研究の目的・方法

現在生体腎移植における後腹膜鏡下ドナー腎摘除術に関して、当院ではより侵襲の少ない3ポート法およびハンドアシストを用いた腹腔鏡下腎摘出術による腎阻血時間（臓器移植のためにドナーの方から摘出された臓器が移植され血流が再開されるまでの時間）の効果的な短縮を目指しています。この手術成績について調査することで手術法の有効性を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年8月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年10月13日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、性別、腎検体データ、病歴、合併症、副作用等の発生状況、採血データ、術後腎機能推移に関するデータ